

粕谷和夫の観察日記。トケイソウ（パッションフルーツ）についてはこれまで何回も紹介しました。今年も高月水田の一部に栽培されているトケイソウの実が赤くなってきました。この写真は8月1日に撮ったもので、田んぼにはイナゴが多数発生していました。またハクセキレイの幼鳥が目立ちました。♡浅川市民センターにもトケイソウが咲いています

紅葉台



新聞

第146号
2024年
9月7日
発行人：関谷 孝

あなたの身近で強い仲間 はちまるサポート



こんにちは、はちまるサポート浅川の諏訪です。皆さん、はちまるサポートってご存じですか？知らない方が多いかもしれません。今日は紅葉台新聞の紙面をお借りして、はちまるサポートについて説明させていただきます。

はちまるサポートは八王子市社会福祉協議会が運営する地域の福祉総合相談窓口です。正式名称を八王子まるごとサポートセンターと言います。この名前のとおり、福祉に関することなら、分野を問わずまるごと相談できる場所です。（写真 浅川市民センター）

人が生きていく中では、さまざまな困りごとがあります。その困りごとを「高齢者」とか「障害者」とか「児童」など分野に分けているような制度や仕組みを作って解決していくのが日本の福祉制度のなんとなくの現状です。でも、うまくその分野に分けられない困りごとたくさんあります。例えば、「ひきこもり」「孤立孤独」など、そもそも、何に困っているか分からない困りごとや、困っていることに気づいていない困りごともあります。

誰かに相談したいけれど、どこに相談するのがいいのかわからない、そんなときに相談できる窓口として生まれたのがはちまるサポートです。

ご自身のこと、家族のこと、近所の人のこと、まずははちまるサポートに相談してください。はちまるサポートよりも適した相談先があればそちらを紹介したりおとなげしたりします。そして、適切な相談先がなければ、どうしていけばよいかはちまるサポートと一緒に考えます。一緒に悩みます。

どんと何でも解決しますとはとても言えないけれど、まずは話をするだけでも心の重荷がちょっぴり軽くなる信じて、はちまるサポートはあなたが相談して下さるのを待っています。それに、**必要であれば待っているだけではなく、会いに行きます。フットワークは軽いほうだと思います。**

ぜひあなたのお話を聞かせてください。

はちまるサポートは市内の地域ごとに13か所あり、紅葉台が含まれる浅川地域ははちまるサポート浅川が担当しています。はちまるサポート浅川は高尾町にある浅川市民センターの1階に窓口があります。来所する以外にも電話やメールでも相談が可能です。ぜひ気軽にご相談ください。

はちまるサポート浅川 (電話) 042-629-9444
(FAX) 042-629-9445

193-0844

八王子市高尾町 1652-1 浅川市民センター1階
sasaeai-asakwa@8-shakyo.or.jp

【開所日】

月～土 9:00～17:00 ※[休み]日曜、祝日、市民センター休館日(第2・第4月曜)

紅葉台新聞読者の皆様、こんにちは！はちまるサポート浅川の佐藤です。

私からは社会福祉とかかわりの深い方を紹介しようとおもいコラムをかかせていただきました。

キャッシュレス化(現金を使わない世の中)が進む中、7月3日に一万円、五千円、千円の紙幣が改刷されました。

皆さんはもうお手元でご覧になりましたか？(写真 佐藤さんと諏訪さん)

国立印刷局のホームページの情報によると、「150年以上にわたり培った偽造防止技術の結晶」と大きく記されており、偽造防止の技術を長年にわたり研究してきたのだと感じ取ることができます。そのひとつに世界初！3Dで浮かび上がる技術もあります。

そんな新一万円札の新たな“顔”は渋沢栄一さんです。

渋沢栄一さんといえば、あらゆる日本の仕組みを作った人でも有名ですが、全国社会福祉協議会の初代会長を務められた方でもあり、なんと！私と生まれた日が同じということもあり、勝手に親近感をもっております。没日は違うと思いますが・・・

人は一人で産まれてくることはできません。いつの時代でもお互いに助け合うことが大切です。背中に背負った“悩み”という大きな荷物をひとつでも下ろすことができれば、心にも余裕が生まれてくるのではなかとおもいます。

五千円札は教育家の津田梅子さん、千円札は近代医学の父、北里柴三郎さんです。

世の中はどんどん先へ進みますが、気持ちは焦らず自分を見つめる機会をもつことを大事にしていきたい今日この頃でございます。

粕谷和夫の観察日記

真夏の空に大きな花を咲かせているヒマワリがあちこちで見られますね。自宅近くの天神公園の花壇の管理を自主的に行っていますが、春に種をまいたヒマワリも咲き誇りました。秋から冬になるとこの花から採った種をカワラヒワが食べに集まります。



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。